

令和3年 11月 17日
(2021年)

保護者のみなさま

吹田市立豊津第一小学校
校長 有明 志郎

令和3年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「令和3年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また今回実施した調査結果等は吹田市ホームページに公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語・算数に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果を、今後の参考にしていただきますようお願いいたします。

1 教科に関する調査の分析

●国語《概要》

全国値を上回り、良好な結果でした。

●国語《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

知識及び技能

言葉の特徴や使い方に関する事項

- ・「思考に関わる語句の使い方を理解してつかうこと」は、全国値を上回っている。
- ・「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく使うこと」は、全国値とほぼ同じである。
- ・「文の中にある主語と述語の関係を捉えること」は、全国値とほぼ同じである。
- ・「文の中にある修飾と被修飾の関係を捉えること」は、全国値をやや下回っている。

思考力,判断力,表現力等

話すこと・聞くこと

- ・「話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える」ことは、全国値を上回っている。
- ・「資料を用いた目的を理解すること」は、全国値を上回っている。
- ・「目的や意図に応じ、資料を使って話すこと」は、全国値を上回っている。

書くこと

- ・「文章全体の構成や展開を考えること」は、全国値を上回っている
- ・「理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書くこと」は、全国値をやや上回っている。

読むこと

- ・「内容の中心となる事柄を把握すること」は、全国値を上回っている。
- ・「文章と図表を結び付けて必要な情報を見つけること」、「中心となる語や文を見付けて要約すること」については全国値を上回ったものの正答率に課題がある。

●国語科における成果と今後の改善点について

一部全国値を下回った設問がありましたが、ほぼ全国値を上回り、良好な結果でした。特に「話すこと・聞くこと」において、全ての設問での正答率が高く、目的や意図に応じてスピーチの構成を考えたり、資料を使って話したりすることができています。

一方で、「書くこと」において、文章全体の構成を考えたり書き表し方を工夫したりすること、「言語の特徴や使い方の事項」において、主語と述語の関係や修飾語と被修飾語の関係を捉えることの無回答率が高く、課題があります。

改善点としては、「読むこと」の学習を通して学んだ文章構成・記述・言語の使い方等を表現活動へ活用する力をさらに高める必要があります。国語科のみならず他教科での発表場面や家庭学習へと活用を広げ、自分の考えを伝える文章構成・記述等を工夫した豊かな表現力を目指し取り組みを進めていきます。

●算数《概要》

全国値を上回り、良好な結果でした。

●算数《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

知識及び技能

数と計算

- ・「商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすること」は、全国値を上回っている。

図形

- ・「三角形の面積の求め方について理解していること」は、全国値を上回っている。
- ・「複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べること」は、全国値をやや上回っている。

測定

- ・「複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べること」は、全国値をやや上回っている。
- ・「条件に合う時刻を求めること」は、全国値をやや上回っている。

変化と関係

- ・「速さを求める除法の式と商の意味を理解すること」は、全国値を上回っている。
- ・「速さと道のりを基に、時間を求める式に表すこと」は、全国値を上回っている。

データの活用

- ・「棒グラフから、数量を読み取ること」は、全国値をやや上回っている。

- ・「棒グラフから、項目間の関係を読み取ること」は、全国値をやや上回っている。
- ・「データを二次元の表に分類整理すること」は、全国値を上回っている。

思考力,判断力,表現力等

数と計算

- ・「二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述すること」は、全国値を上回っている。
- ・「示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断すること」は、全国値を上回っている。
- ・「小数を用いた倍についての説明を解釈し、他の数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数にあたる理由を記述すること」は、全国値を上回っている。

図形

- ・「複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答え方を記述すること」は、全国値を上回っている。

測定

- ・「二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述すること」は、全国値を上回っている。

変化と関係

- ・「速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察すること」は、全国値を上回っている。

データの活用

- ・「帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述すること」は、全国値を上回っている。
- ・「集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断すること」は、全国値を上回っている。

●算数科における成果と今後の改善点について

算数科においては、全ての設問で全国値を上回っていました。また、無回答率に関しても、全国値を下回っている設問はありませんでした。

そのため、“本校における、比較的無回答率が高い設問”を分析した結果、答えとともにその根拠を記述する設問に関して、根拠の部分が無回答である率が高いということがわかりました。

改善点としては、「問題文から問われている内容を正確に読み取る力」や、「立式に向けて思考の整理を正確に行う力」を育む取り組みを進めていきます。

2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

【学習環境・生活環境について】

- ・「自分にはよいところがある」は全国値とほぼ同じだが、「将来の夢や目標をもっている」は全国値をやや下回っている。

- ・「平日の授業時間以外での読書の時間」と「家にある本の冊数」はいずれも全国より多い。
- ・「学校に行くのは楽しい」児童は全国値とほぼ同じである。

【教科・学習について】

- ・「授業での ICT 機器の活用」の頻度は、全国値よりも大きく上回っている。
- ・「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすること」や「自分で課題をたてて情報を集めて整理して、調べたことを発表する」ことは全国値を上回っている。
- ・国語・算数とも、「好き」「よくわかる」の両方で全国値を上回っている。

【新型コロナウイルス感染症が児童に与えた影響について】

- ・「休校中、勉強に不安を感じましたか」について不安を感じた児童は全国値より少ない。
- ・「休校中計画的に学習を続けることができましたか」、「休校中規則正しい生活を送っていましたか」は全国値を上回っている。

3 今後の取り組み

教科に関する結果から、国語、算数とも意欲的に取り組み、自分の考えを深めたり表現したりすることが、全国と比べてよくできていることがわかりました。学校として国語や算数の授業改善に取り組んできたことが、児童の実感としてつながってきたことがうかがえます。友達と話し合ったり、自分の考えをまとめて伝えあったりすることができてきたことは、主体的・対話的で深い学びをめざす学習指導要領にも合致します。今後とも、学校ならではの「仲間とのかかわりの中での学びを大切にしたい授業づくり」を進めてまいります。また、1人1台のiPadを日常的に活用して授業を行っていることは、昨年度から吹田市のパイロット校として先進的にICT活用に取り組んできた成果であると考えます。今年はデジタルシティズンシップ教育等、自分や人を守る安全で適切なICT活用についても指導していきます。ご家庭でも話し合ってみてください。

また、生活環境や学習習慣等の結果から、家庭学習の計画性や取り組む時間などは全国をやや上回るものが多い結果でした。教科学習でも勉強について「好き」「わかる」といった肯定的な捉えが多いことと密接に関わっていると思われます。ご家庭でのサポートに感謝申し上げます。

自分の学習や生活にはまじめに取り組む児童が多い一方、「将来の夢や目標を持っている」が全国値をやや下回っているという結果でした。休校や分散登校、様々な行事の縮小や中止等、新型コロナウイルス感染症対策のため、楽しい行事が減ってしまったり、授業も履修漏れがないようにどんどん進まざるをえなかったりした閉塞感が影響しているのではないかと考えます。今後は異学年交流や学級・学年の取り組み、キャリア教育等を推進し、自分の周りや社会にも目を向けて前向きな気持ちで過ごせるような教育活動を進めてまいります。

☆校長より☆

自分の小学校時代の夢は「阪急電車の運転手」になること。だと、思ってた。けど、卒業の寄せ書きには「地球を征服する！」と書いてる。担任の先生は何で止めなかったのか？そして、気がつけば、小学校の先生がおもろくて40年もやってる。6年生！1年～5年のみんな！ぼんやりでもいい。何か自分だけの夢を持てよ！そして、まわりの大人は「無理やって」とか、「叶うわけない」とか絶対言うな～！